

## 地域の課題等について

令和3年度における取組状況の主な内容については、以下のとおりです。

### ■【「安全・安心なまちづくり」の推進】

#### ◆市有償運送事業に代わる「生活交通」の本格検討

- ・生活交通の実施主体の意思を把握しながら、具体的な「生活交通」を実施するにあたっての計画・検討における支援を行い、実施主体への円滑な事業移行を目指す。

#### ◆カ被害の増大に伴う地域対策の本格検討

- ・カの生態・行動に関する知識やカ出没情報を共有し、カが人や人里へ慣れないように地域ぐるみでの追払いや駆除の取組を検討・実践するにあたっての地域支援を行う。

#### ◆公共工事発生土受入候補地(美成計画地)事業の各方面への報告を含めた適正な進捗

- ・今後、県建設技術センターと国の補助金の取扱い情報等について共有を図りながら、取扱いが整い次第、各方面への報告等を実施し、各意見等を踏まえ市長協議を経て、市の方向性等を判断する。

#### ◆用瀬町民の特定健診・人間ドック(国保)の受診率向上への取組

- ・令和3年度の受診率が37.5%と、前3か年度と比較して6.5~7.5ポイント低く、コロナ禍においても安心して健診できる体制や健診の必要性の啓発活動を通じ、用瀬町民の受診率向上を目指す。

#### ◆用瀬町での地域包括ケアシステムの推進

- ・用瀬町社会福祉協議会と連携して、地域支え愛ネットワークである「ひなネット」や福祉学習の推進を支援する。

### ■【「魅力ある地域づくり」の推進】

#### ◆公共施設利活用に伴う地域検討・公募の支援

- ・用瀬町3か所の保育園跡地の利活用にあたり、地域要望や公募に対して、資産活用推進課と連携して、地域活性化などの視点を持って、具体的な利活用計画に参画・支援する。

#### ◆「用瀬の流しびな」の国の記録選択決定を受けた、調査体制の確立支援

- ・国の記録選択の決定を受け、調査報告書を作成するにあたっての調査体制を、市文化財課や県と連携して、早期に確立できるよう支援する。

#### ◆地域活性化に向けた各種団体の活動支援の推進

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防を適切に図りながら、令和3年度末には光ファイバーによる超高速通信網が整備されることによるインターネット環境の改善も視野に入れ、用瀬町ならではの地域資源を活用したイベントへの活動を支援する。

#### ◆学生等の若者を含めた関係人口拡大策の検討

- ・昨年度鳥取環境大学に調査委託した事業報告を参考に、学生等の若者を含めた関係人口の拡大を図るべく、地域として関係人口に求める地域課題の関わり方を示す等、若者を含めた関係人口の求めるターゲットやマッチングを検討する。

令和3年度以降も地域振興会議の皆様や地域住民の方々のご意見をいただきながら、総合支所の各課が連携し、課題解決に向けて取り組んでいきます。